

シリーズ戦後70年

戦争は子どもの自由も奪う

昭和12年の支那事変（日中戦争）から昭和20年に太平洋戦争が終わるまでの8年間にわたり戦争を経験されたYさんから貴重なお話をお聞きすることができました。

Yさんは、昭和4年に岡山県久米郡柵原町で生まれ現在86歳。10人兄弟の5番目として生まれ、お兄さん3人は戦争に出征されたそうです。柵原町は、鉱山業が盛んで、農業をしながら鉱山で働く人が多くいました。Yさんの実家も鉱山業と農業で生計を立てていました。戦争が始まり鉱山で採掘した金属や鉄などは、全て国に没収されました。幸い食べ物、主には川で取れる魚を干して食べたり、芋、キビ、粟などの穀物を食べて

しのぎました。白米は正月など、特別な時だけ食べられました。そのときだけはとても嬉しかったです。まだ13歳で女学校へ入っていたYさん。学校に行くと勉強がしたかったけれど、させてはもらえず、代わりに、児島の軍服を製造する工場へ行かされて、糸を紡いだり、荷造りなどをして働きました。その工場では、ウサギを狩って毛皮をつくり、兵隊さんの上着も作っていました。今は、勉強する事や、働いて得たお金で自由にする事は当たり前ですが、当時はいろいろな事に制限がありました。「国はなにを考えているのか。国民全体のことを考えて欲しい。」13歳でそんなことを思っていました。



Yさんのお話を聞き取る筆者(右)

「一生懸命働く人が、惨めな思いをする世の中になってほしくないねえ!」今の世の中のように、自由で平和なのがずっと続くといいねえ。」と最後に力強くおっしゃられたことが強く印象に残りました。老健あかね 栄養科 調理師 佐藤 望美

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。

ボランティア紹介

「お花ボランティア」 小川三恵子・大田幸子



小川三恵子さん(当院OB) 大田幸子さん(当院看護師)

どんなふうにしよるか楽しみながら活けています。お花を見てくださった患者さんから質問を受けたり、感想を言われたりすること、楽しく会話を増やしました。「きれいですね。」その一言

毎週火曜日、玄関前と2病棟の「お花ボランティア」をさせていただいています。花屋さんから届いたお花を見て、

シリーズ「専門職の誇り」

「ここで診てもらえてよかった」と言っていただけ、病院を目指して



北條真由美

私は倉敷医療生活協同組合にお世話になりました。話になつて早くも22年になり、介護福祉士を取得して17年になりました。私が今まで頑張った支えになってくることがあります。その中のひとつをご紹介します。

10数年前のことです、80代女性Aさんの発する言葉はいつも暴力的でした。いつものようにコール対応をしていた私に「もっと優しく出来んのか!」と酷く怒って言われたのです。その時、「なぜ介護の職を選んだのか?」「今までの私はなんだったのか?」「一瞬何が起ったか分からなくなるほどの衝撃をうけまし

た。そして私はAさんから、言葉にならない心の叫びのようなものを感じました。それからいろいろな研修に参加し、介護技術やコミュニケーションについて学びました。今Aさんのお話が出来たのなら、痛みに共感し、寄り添い、お別れのその日まで心の支えになれるように努力したいと心から思います。

来年には新病院に引越します。外見ばかり立派でもいけません。これからは「おもてなしの心」で接し、多くの患者様に「ここで診てもらってよかったわ」と言ってもらえるように頑張りたいと思います。コープリハビリテーション病院 3病棟 介護福祉士 副主任 北條真由美

思っています。これからもよろしくお願ひします。(大田 幸子) 私が「お花ボランティア」に携わって2年くらいでしようか。2階あかねと1病棟、そして3病棟の3か所のお花を活けています。もともとは私の友人が長い間、されていたのですが、友人

「少人数でのレクリエーション活動」



竹下 進

老健あかねでは、レクリエーション活動で「利用者が喜びを感じ、生活を豊かにする」QOL向上を重要視した取り組みを海外研修で学び取り入れています。海外の研修で6人くらいの少人数で利用者が集合することにより、不安・緊張が取り除かれレクリエーションがスムーズに行われていることを参考に老健あかねでも実践しました。



少人数での棒体操レクリエーション風景

レクリエーション記録シートの評価項目を分析し、結果として利用者の表情・参加意欲・不安・緊張の評価項目で改善がみられました。利用者の感想では、「楽しかった、また参

加したい。」「人数が少ないので、早くボールが回ってきた。」と笑顔が多く見られました。大きな声で他の利用者を応援してくださる方、かけ声をしてくださる方もいらっしゃいます。多くの利用者にレクリエーションを通じて、「満足感・喜び」が得られたようでした。今回の実践を岡山県老人保健施設大会で発表してきました。老健あかね 介護福祉士 竹下 進



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 8:30~17:00
(土日祝・年末年始を除く)
〒712-8024
倉敷市水島北春日町4番3号
ホームページ
http://coopreha.jp/
メールアドレス
info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人